

【池袋駅東口地区】

『学園通りづくり』



平成19年3月
豊島区

池袋駅東口整備の背景

池袋東口地区は、区内随一の繁華街として賑わいのある地区ですが、高等学校や各種の専門学校もあり、多くの学生の集まる地区でもあります。また平成20年には、時習小学校跡地に帝京平成大学が開校され、新たな学生を迎えることとなります。

そこで、地区の快適、安全な歩行環境を確保していくため、駅から大学予定地までの「学園通り」をはじめとした道路整備事業を進めていきます。



地区の特徴と整備の考え方

地区の特徴

- ◆ 幹線道路や生活道路の整備率は高く（検討範囲の道路率（地域に占める道路の割合）は約37%で、豊島区の道路率約18%のおよそ2倍）、街区も整っています。また、土地利用も商業と住宅とが比較的分離された状況です。しかし、路上駐車や放置自転車、商店の看板などが多く、雑然としたイメージがあります。

- 駅近くは区随一の繁華街として賑わっている地区に、また、大学周辺は住居系が多く見られる地区になっています。
- 生活道路は、幅員6mから8mのものが多く、大半が一方通行規制されているため、比較的道路幅員に余裕があります。
- 生活道路では、荷捌き車などの路上駐車や、駅を利用する放置自転車、商店の看板・ワゴンなどが多く、歩行者の通行の妨げとなっています。
- 民間駐車場の利用率は高く、休日は満車状況に近くなっています。



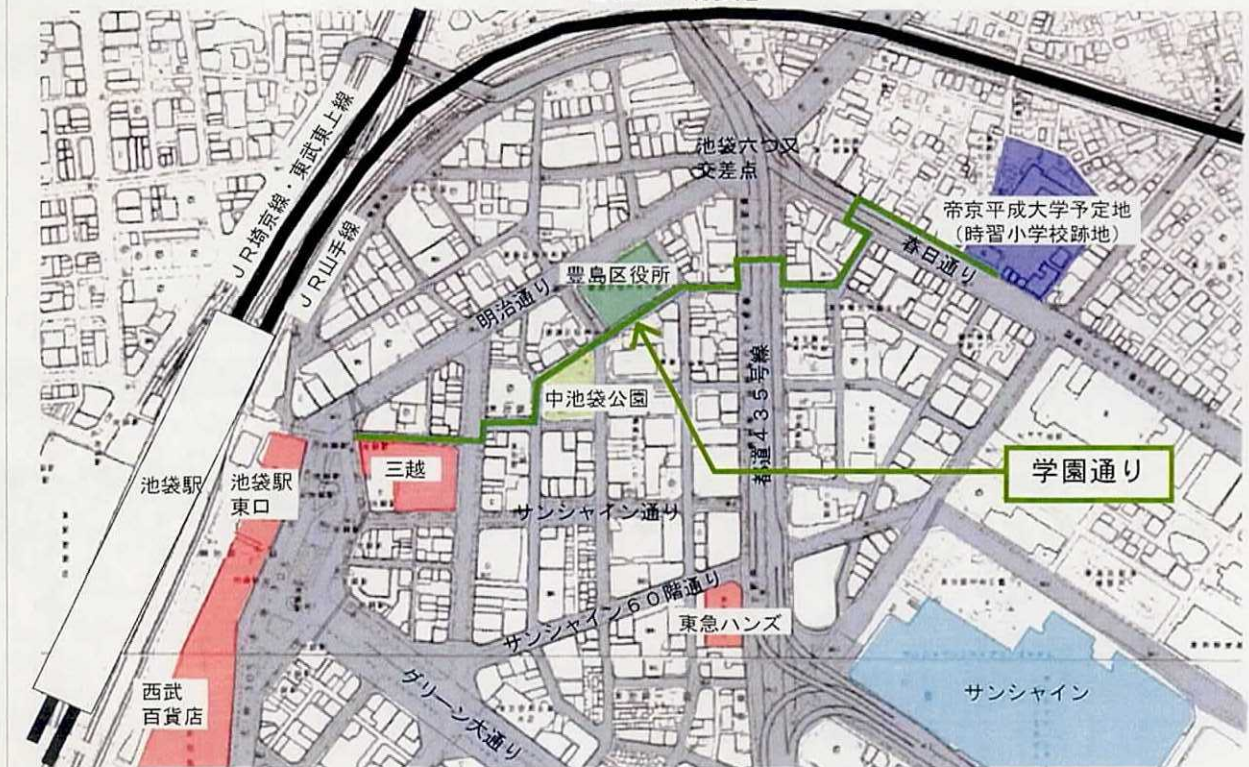
整備の考え方

- ◆ これまでの車優先から、人優先の道路づくりを進めます。

- 生活道路の通過交通を抑制して、歩行者・自転車通行の安全性や快適性を確保します。
- 商店街の活性化を目指し、安心して楽しく買い物ができる道路づくりを進めます。
- 大学移転に伴う通学者の増加に対応し、地区の安全・快適な歩行環境を確保するため、『学園通り』の整備を進めます。



『地区の概要』



■ 地区生活道路の課題

課題1

◆路上駐車対策が必要です。

- 車道幅員に比較的余裕がある生活道路は、幹線道路以上に路上駐車が発生しています。
- 路上駐車によって、歩行者・自転車の円滑な通行が妨げられています。
- 周辺の駐車場は利用率が高く、特に休日には満車状態になります。



課題2

◆安全確保のため、交差点改良が必要です。

- 生活道路の交通事故は幹線道路の3倍以上もあり、その多くが交差点付近で発生しています。
- 安全確保のため、路上駐車による見通しの悪い交差点などの改良が必要になっています。



課題3

◆車両と歩行者で路面を広く弾力的に使い分ける、歩車共存の道づくりが必要です。

- 通過交通が幹線道路の渋滞を避けて、スピードを出しながら生活道路に入り込んできます。生活道路でありながら車優先に使われています。
- 自動車の速度を抑制し、歩行者・自転車の安全性を確保することが必要になっています。
- 両側に立ち並ぶ店舗の回遊性や、楽しく歩ける歩行空間とするには、弾力的に広く路面を活用できる歩車共存の道づくりが必要です。
- 視覚的区分によるソフト歩車分離や、イメージハンブ、スラロームなどの工夫が必要です。



課題4

◆景観に配慮した道づくりが必要です。

- 路上駐車、放置自転車、荷捌き車両、商店の無秩序な道路占有などにより、雑然とした街景観になっています。
- 区随一の繁華街であり、サンシャインという広域集客施設もある、区の顔となっている地区です。
- 誰もが安心して楽しく歩け、誇りとなる美しい街と道を整備する必要があります。



■ 学園通り

帝京平成大学の開校により、学生の増加が見込まれる道路は幾つか想定されますが、交通量調査やアンケート調査等により、明治通り（都道）と下図のルート（区道）が有力であると考えられます。そこで、下図のルートを「学園通り」として、安全で快適な歩行環境を確保した整備を行ないます。

整備方針

- ◆ソフト分離による歩車共存により、路面を一体的に広く使える構造。
- ◆路面のカラーリングによって、視覚的に歩行空間を区分。
- ◆歩行空間を確保するため、車両は一方通行化。
- ◆パーキング・メーターは、他への移転を検討。
- ◆中池袋公園に隣接する区間は、スラロームによって車両速度を抑制。
- ◆春日通りは、歩道を30cm拡幅。

【樹脂系舗装】



【イメージハンプ】



【スラローム】



【荷捌きスペース】



整備イメージ（例）

- 【区間3・4】中池袋公園西側、北側
- 道路幅員8m、車両一方通行。
 - カラーリングによって、視覚的に歩行空間を明示。
 - スラロームによって車両速度を抑制。
 - 歩行空間は、公園の反対側に4mを確保、車道は4m。
 - パーキング・メーターは移設。

【断面イメージ】

8000		
歩道	車道	
4500~2500	3500~5500	

- 【区間6】
- 道路幅員8m、現在は双方向通行。
 - 車両一方通行化によって、歩行者空間を確保。
 - カラーリングによって、視覚的に歩行空間を明示。
 - 歩行空間は両側各2m、車道は4m。
 - パーキング・メーターは移設。

【春日通り】

- 電線類は地中化。（C.C.Box）
- 歩道を30cm拡幅。

- 【区間1】三越裏
- 道路幅員6m、車両一方通行。
 - カラーリングによって、視覚的に歩行空間を明示。
 - 歩行空間は両側各1.5m、車道は3m。

【断面イメージ】

6000		
歩道	車道	歩道
1500	3000	1500

- 【区間2】
- 道路幅員8m、車両一方通行。
 - カラーリングによって、視覚的に歩行空間を明示。
 - 歩行空間は両側各2m、車道は4m。

- 【区間5】区役所南側
- 道路幅員8m、車両一方通行。
 - カラーリングによって、視覚的に歩行空間を明示。
 - 歩行空間は両側各2m、車道は4m。
 - パーキング・メーターは移設。

- 【区間7・8】
- 道路幅員8m、車両一方通行。
 - カラーリングによって、視覚的に歩行空間を明示。
 - 歩行空間は両側各2m、車道は4m。

【断面イメージ】

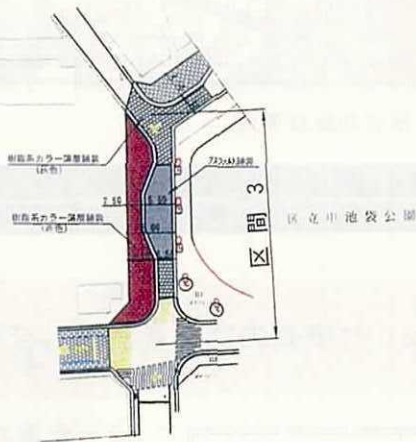
8000		
歩道	車道	歩道
2000	4000	2000

区間別の整備方針

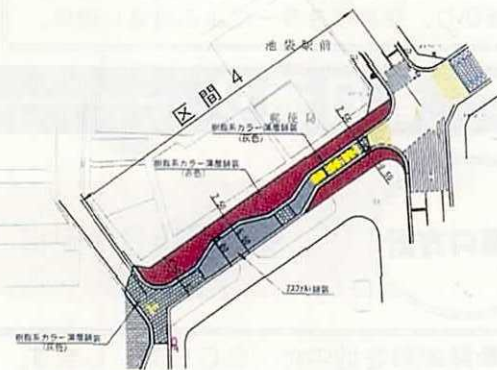
【区間3～区間4】

- ◆スラロームによって車両速度を抑制します。
- ◆歩道は公園と反対側に寄せて確保します。
- ◆荷捌きスペースを各1箇所確保します。一般車両の駐車は禁止します。
- ◆ワインレッドとライトグレーの落ち着いた飽きのこない配色で歩車道を視覚的に区分します。

区間3



区間4



パーキング・メーターの移転

- ◆『学園通り』部分のパーキング・メーターは、整備に伴い他への移転を検討します。

- 学園通り区間に位置する移転対象パーキング・メーターは8台です。
- 稼働率は、平日 88%、休日 78%と高く、夜は 100%稼働となっています。
- 周辺民間駐車場の利用率は高く、路上駐車も発生しており、地区の駐車バランスは、需要過多となっています。
- 移転候補位置は、中池袋公園南側、豊島公会堂南・東側、都道435号線などが考えられます。

『移転対象パーキングメーターの位置』



その他の整備イメージ

整備の方針

- ◆ (仮称) 学園通り北側線を整備し、バリアフリー対応とします。
- ◆ 事故の多い危険な交差点を対象として、交差点改良の検討を行います。

【(仮称) 学園通り北側線】

- 歩車道の段差の少ない、セミフラット構造の歩道とし、急勾配箇所を解消。
- 歩道幅員を 2.0m から 2.5m に拡幅。
- イメージハンプや交差点の明確化などの安全対策を実施。

【交差点改良メニュー】

- 点滅鉞の設置による夜間安全。
- 路面標示、マーキングによる明確化。
- イメージハンプ、ハンプの設置。
- 高輝度舗装による交差点の明示。
- 入り口部の狭さくによる速度低減。
- ポラードの設置による駐車抑制。
- 広告、ワゴン撤去による歩行空間の確保。
- 隅切り、交差点ミラーによる見通し確保。

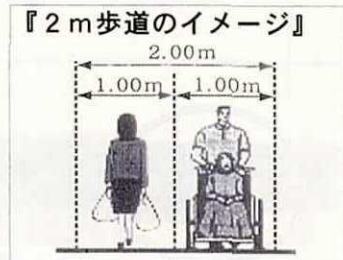


春日通り

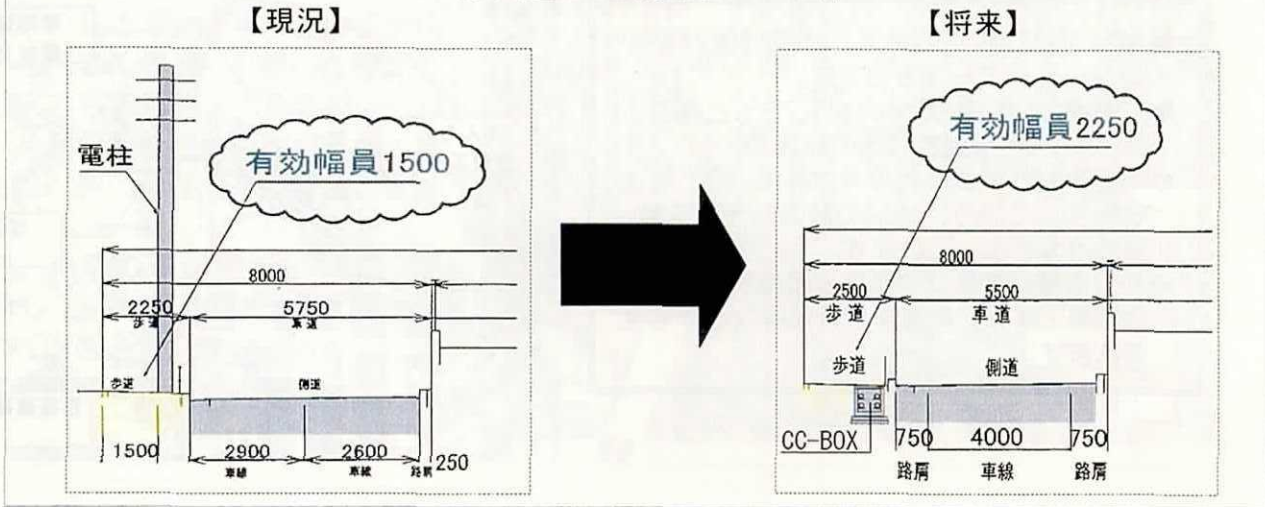
整備の方針

- ◆ 電線類の地中化 (C.C.Box) と歩道の拡幅を実施します。

- 電線類を地中化 (C.C.Box) します。
- 歩道を 30cm 拡幅し、有効幅員 2.0m 以上を確保します (車椅子や自転車のすれ違いが可能な、バリアフリーに対応した幅員とするためには、2.0m 以上が必要です)。



『春日通りの断面イメージ』

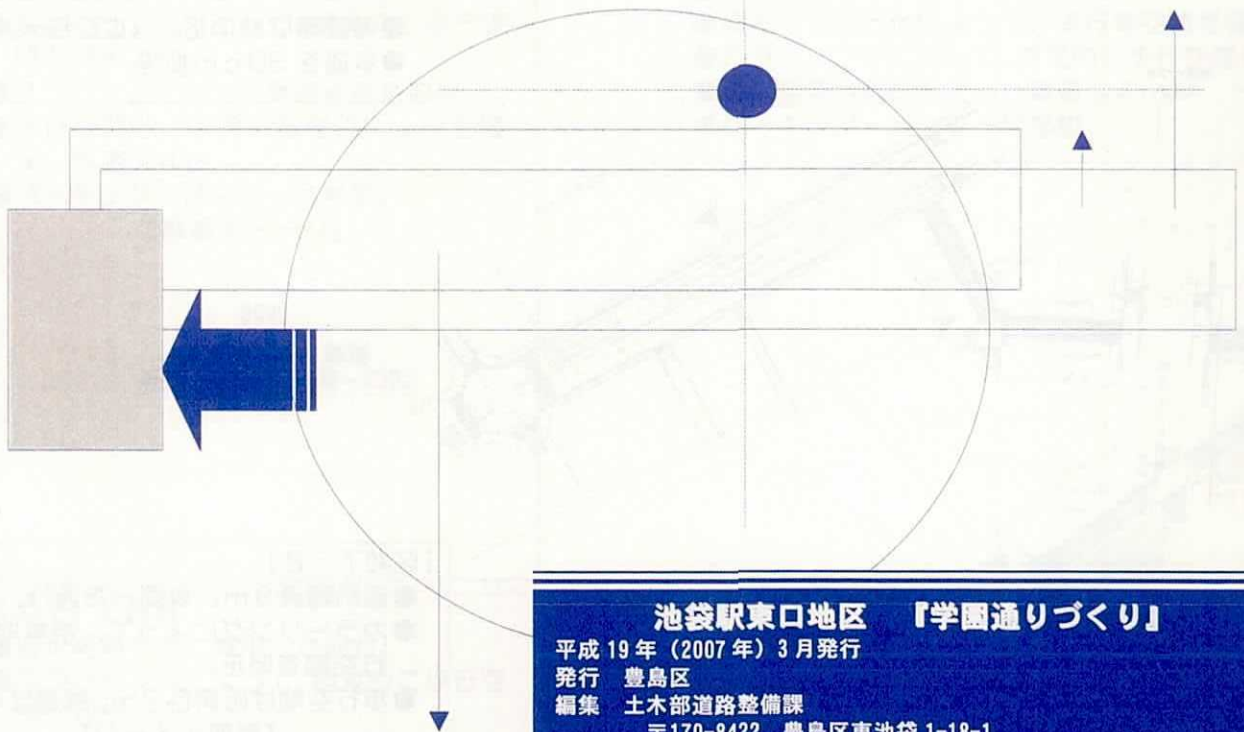


■ 整備スケジュール

『 整備スケジュール 』

整備内容		整備年次				備考
		H18	H19	H20	H21～	
学園通り の整備	区間1					
	区間2					
	区間3					
	区間4					
	区間5					
	区間6					
	区間7					
	区間8					
春日通りの整備						
パーキングメーターの移設						
学園通り北側線の整備						
交差点の改良 (あんしん歩行エリア)						

- 学園通りは、平成18年度から着手し、平成20年度までに整備します。
- 春日通りは、平成19年度から着手の予定です。
- その他の整備は、平成21年度以降に順次着手する予定です。



池袋駅東口地区 『学園通りづくり』

平成19年(2007年)3月発行

発行 豊島区

編集 土木部道路整備課

〒170-8422 豊島区東池袋1-18-1

TEL 03-3981-1111(代表)

FAX 03-3981-1008

MAIL keikakusekai@city.toshima.tokyo.jp

URL <http://www.city.toshima.tokyo.jp/index.html>

製作・印刷 ランドブレイン株式会社

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-2-10

平河町第一生命ビル7階

TEL 03-3263-3811

FAX 03-3264-8672

MAIL soumu@landbrains.co.jp

URL <http://www.landbrains.co.jp/>